

図書館だよりのタイトルは小樽市の木シラカバ（シラカバ）にちなんで命名。

市立小樽図書館 〒047-0024 小樽市花園 5-1-1  
TEL (0134) 22-7726/FAX (0134) 34-0733

<https://www.otaru-lib.jp/>

最新情報はこちらをチェック↓



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube

休館日■黒い枠

| 10月 図書館カレンダー 9月15日現在 |            |          |          |          |          |          |
|----------------------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 日<br>Sun             | 月<br>Mon   | 火<br>Tue | 水<br>Wed | 木<br>Thu | 金<br>Fri | 土<br>Sat |
|                      |            | 1        | 2        | 3        | 4        | 5        |
| 6                    | 7          | 8        | 9        | 10       | 11       | 12       |
| 13                   | 14<br>祝日開館 | 15       | 16       | 17       | 18       | 19       |
| 20                   | 21         | 22       | 23       | 24       | 25       | 26       |
| 27                   | 28         | 29       | 30       | 31       |          |          |

## イベントについて

図書館では行事を開催する際、定員のある行事は申込制となっております。参加希望の方はお申込みください。

行事の詳細については、5、6ページをご覧ください。

## 開館時間

火～金は午前9時半～午後7時まで  
土・日・祝日は午前9時半～午後5時まで



## 休館日

10月 曜日 7日・21日・28日  
館内整理休館日 25日（金）  
※祝日（10/14スポーツの日は開館いたします）

11月 曜日 11日・18日・25日  
館内整理休館日 29日（金）  
※祝日（11/3文化の日、4振替休日、23勤労感謝の日は開館いたします）

## 11月

| 日         | 月         | 火  | 水  | 木  | 金  | 土          |
|-----------|-----------|----|----|----|----|------------|
|           |           |    |    |    | 1  | 2          |
| 3<br>祝日開館 | 4<br>祝日開館 | 5  | 6  | 7  | 8  | 9          |
| 10        | 11        | 12 | 13 | 14 | 15 | 16         |
| 17        | 18        | 19 | 20 | 21 | 22 | 23<br>祝日開館 |
| 24        | 25        | 26 | 27 | 28 | 29 | 30         |

## 予約ベスト5

( ) の人数はR6. 9. 12現在の予約人数です。

- |                     |         |       |
|---------------------|---------|-------|
| ◎ともぐい               | (河崎 秋子) | (64人) |
| ◎クスノキの女神            | (東野 圭吾) | (53人) |
| ◎成瀬は天下を取りに行く        | (宮島 未奈) | (50人) |
| ◎ブラック・ショーマンと覚醒する女たち | (東野 圭吾) | (40人) |
| ◎首木の民               | (誉田 哲也) | (33人) |

## 今月のおすすめ本

書名の前の数字は分類番号です。



913. 6「ゴミの王国」 朝倉 宏景 著

主人公の父親は極度の潔癖症だった。そして自分自身も潔癖症となる。しかし現在の職業が意外や意外。その上、隣人がよりによって…という話。我が家はかなり断捨離した。気持ちもすっきり。タンスもすっきりと余裕が出来た。そうすると新たに購入したくなるのが人間というものだ。いつになったらすっきりとした暮らしになるのだろう。(N・K)

## 「資源か?・・・」の巻

## ハート職人、今夜も夜なべ?

雪が降る前に、もう少し断捨離したかった。まだ間に合うのだけれど、気力がない。財力もない。無料の時代になんとかしていたら良かったのだ。しかしその頃は昭和一桁生まれの母が目を光らせていた。「なんで捨てるのさ。まだ使えるよ! あんたたちなら全く!!」と言うのだ。確かに使える物もあった。ただただタンスの肥やしと化した服は、時代遅れで多分、着ないのだ。資源としても時代遅れで活用できない。外出着として活躍した服を部屋着として活用することがある。しかしなんだか首がチクチクする。虫か? と思ったが違う。服の内側に添付されているタグがチクチクの原因。洗濯のたびに劣化していくのだ。年齢をそれなりに重ねた身、神経はずいぶん太くなったかも知れないが、皮膚はめっきり弱まっている。タグを切ったが、なんだか違和感が残る。老いた目には見えない布地がかすかに残っているようだ。昔(とは何年前なのか? 令和ではない、確実に・・・)、購入した服はそれなりのお値段だった。生地は丈夫だった。だからこそ処分出来ず、部屋着として活用したいわけだ。最近タグが肌と接しない位置に付いている場合がある。もしくは直接、服に印刷されている場合がある。サイズが大きく印字されていると、裏から見えるのではないかとハラハラしたが、意外と大丈夫だ。最近の購入服はかなりお安い。つまりそれなりの耐久性。断捨離で悩む必要がなくなるはず。しかしこちらの取捨選択のレベルが低くなって、結局、処分出来ずに先送り。いつまで先送り出来るかは、健康次第。

593. 5「10年着るための衣類ケアブック」石川 理恵 著

## 小説類



「岩に牡丹」 諸田 玲子 著  
秋田を訪れた平賀源内にその画才を見出され、「解体新書」の絵師に大抜擢された下級武士の小田野直武に、江戸出仕の密命が下る。源内は老中・田沼意次と秋田の佐竹家を強請ろうとしていて…。

「紺碧の海」 梶 よう子 著  
八丈島生まれの留吉は、同郷の半右衛門に憧れていた。半右衛門の誘いで鳥島へ渡ると…。絶海の無人島で鳥を撲殺し、金を生み出す島へと変えた男、玉置半右衛門の壮絶な人生を描く。

「魔者」 小林 由香 著  
週刊誌記者の柊志は、封印していた自分の過去が書かれている小説に出会う。覆面小説家について調べ始めた時、会社にかかってきた一本の電話。兄が起こした事件と姉が死んだ事故の真相を探るため、故郷を訪れるが…。

## 随筆



「恐竜時代が終わらない」 山野辺 太郎 著  
少年時代に行方をくらました父が、かつてわたしに伝えた恐竜時代の記憶。草食恐竜の男の子と肉食恐竜の男の子との間に芽生えた切ない感情の行方を、わたしは聴衆の前で語る。

「海風（かいふう）」 今野 敏 著  
日本に開国を求めるアメリカの艦隊司令長官・ペリーの対応に幕府は苦慮していた。小姓組番士・永井尚志は、老中首座・阿部伊勢守正弘により、幕府の対外政策を担う海防掛に抜擢され…。

「名探偵の有害性」 桜庭 一樹 著  
かつて、名探偵の時代があった。令和の世になって突如、名探偵の弾劾が始まった。名探偵の助手だった鳴宮夕暮は、かつての名探偵・風とともに、過去の推理を検証する旅に出る。

「銀河の図書室」 名取 佐和子 著  
県立野亜高校の図書室で活動する、宮沢賢治を研究する弱小同好会「イーハトー部」。部長だった先輩が、突然消えた。高校生たちは賢治が残した言葉や詩、そして未完の傑作「銀河鉄道の夜」を紐解きながら、先輩の謎を追う…。

「マザー」 乃南 アサ 著  
娘が嫁いで一人残された高齢女性が、やがてマンション内で鞘当てが起きるほどに華やかに変貌し…。「母」という名に隠されたひとりの女性としての“本当”の姿を描き出した5つの短編家族小説。



「タブー・トラック」 羽田 圭介 著  
クリーンなイメージを維持する俳優、自らのコントロールに腐心する脚本家、不祥事を起こした有名人をSNSで弾劾する会社員。タブーに縛られ、タブーに魅せられた人生が交錯する先に現れたのは…。

「ここは今日も旅をする」 五木 寛之 著  
豊かな記憶の海へ、そしてまだ見ぬ明日へ、足腰は弱っても、ここは旅に遊ぶ。90歳を越えた作家・五木寛之が、時代や加齢に微笑で応じる、一読痛快、五木流抱腹人生論。

「なんだか今日もダメみたい」竹中 直人 著  
くだらないって最高じゃないか！俳優、映画監督、音楽家など、あらゆるジャンルで活躍する奇才が、家族や学生時代のエピソードから俳優や音楽家との交流までを綴った自伝的エッセイ集。

## その他

書名の前の数字は分類番号です。



929.1「TUBE」

ソン・ウォンピョン 著  
仕事にも家族にも運にも見放された中年男、キム・ソンゴンには、この世との別れを決意するも失敗。状況を改善すべく、まずは姿勢矯正から始めたソンゴンだが、そんな取るに足りない小さなチャレンジがやがて人生を変えていく。

973「足し算の生」カルミネ・アバーテ 著  
友人たちよ、私は足し算の生を生きたい。北と南、心の言葉とパンの言葉、私と私、そのどちらかを選ぶよう、誰かに強制されることなしに。移住と郷愁、対立と和解。世代を超えて反復される移住を様々な角度から描く。

# 新着一般書

書名の前の数字は分類番号です。



159 「あつという間に人は死ぬから」  
佐藤 舞 著  
「時間の浪費」はなぜ起こるのか。現代人の課題を「有意義な時間の使い方」にあるとし、先人の知恵と最新の文献から、後悔しない人生を送るための時間の使い方を体系的に整理する。書き込み式のワーク付き。

291. 6 「京都なぞとき散歩」  
柏井 壽 著



なぜ本願寺はふたつあるのか。「おばんざい」の定義とは。お寺や神社、通りの名前や食に至るまで、京都に関するいろいろななぞときをしながら、とっておきのお店やスポットを紹介する。

366. 6 「決断」 寺岡 泰博 著  
そごう・西武労働組合は、2023年8月31日、百貨店としては61年ぶりのストライキを決行した。池袋の街を騒然とさせた、300人のデモ行進。労組委員長が577日間の闘いを綴る。

386. 1 「異界にふれるニッポンの祭り紀行」  
大石 始 著  
なぜ人は祭りに熱狂するのか？秋田のナマハゲ、富山のおわら風の盆、沖縄のパーントゥなど、全国18ヶ所の祭りや年中行事を訪ね、受けつがれてきた地域の思いにふれたハレ(=非日常)の探訪記。

523. 1 「離島建築」 箭内 博行 著  
鯉漁の繁栄を語る和洋折衷の不思議な建物、唯一無二の石造り集落、佐渡に残る元妓楼旅館…。東西南北に点在する日本の100の島の150以上の建造物を通して、島特有の文化や暮らし、そこに住む人々のストーリーを写真とともに紹介。



596 「午前7時の朝ごはん研究所」  
小田 真規子 著

水分・やさしさ・エネルギー・体温・栄養。何か欠けているいつもの朝に、このピースをぱちんとはめると、気持ちいい一日がすごせる。残りの人生「全朝食」が確実においしくラクになるレシピを紹介する。



597 「昭和ぐらしで令和を生きる」  
平山 雄 著



家具や電化製品から小物類まで、すべてのものを昭和時代製で揃え、完全に昭和の家庭を再現して暮らしている著者の自宅を全面公開。友人たちの昭和ファッションと昭和ルーム、ショップなども紹介する。

654. 2 「盗伐」 田中 淳夫 著  
摘発したがない警察、懲りない加害者、50年森を育ててきた夢を破壊された被害者の慟哭…。日本の盗伐事情とその背景を探るとともに、世界の違法伐採と、それを取り締まるための努力と実態を明らかにする。

778. 2 「韓国映画から見る、激動の韓国近現代史」  
崔(チェ)盛旭(ソンウク) 著  
3・1独立運動、光州事件、儒教的家父長社会…。韓国映画を題材に、そこから透けて見える歴史や社会問題を解説する。韓国という国のダイナミズムをより深く立体的に理解する為の一冊。『サイゾーウーマン』連載等を書籍化。



910. 2 「太宰治との奇跡の四日間」  
櫻井 秀勲 著  
終戦ほどない時分、14歳の著者が湯治場で見知った男の正体は誰か。この謎は数多くの作家を惹きつけ、著者の運命を大きく動かすことになり…。文学史上には存在しない事実を、93歳の現役編集者が書き下ろす。

## 児童資料

「ルビーの一步」 ルビー・ブリッジズ 著  
 1960年、白人専用の小学校に全米初の黒人生徒として入学したルビー。どなり、さけび、おどし、ものを投げつける人びとのなかを登下校し…。勇気を出して、人種差別に立ち向かった6歳の少女からの「平和の手紙」。

「捨てられる魚たち」 榎木 春幸 著  
 捨てたらゴミ、食べればごちそう！捨てられる「未利用魚」を、火山灰を利用して干物につかった「桜島灰干し弁当」を開発した食育日本料理家が、自身の活動とともにフードロス問題や日本の食文化について綴る。

「くもの日記ちょう」 長 新太 著  
 くもってどんな生活をしているの？ゆきだるまを観察したり、蝶になったり、入道雲になったり、天気予報と戦ったり…。くもはやっぱり、どこまでも自由！知られざるくもの毎日を日記形式で描く。



## 郷土資料

書名の前の数字は分類番号です。

H229. 2 「樺太・紙の記念館」にむけて  
 工藤 信彦 著  
 自らの歴史は、自らが紡がなくては…。樺太生活者たちの記憶に働きかけ、その記録化を立案推進した著者が、その手掛けた膨大な記事から厳選し、「樺太・紙の記念館」構想と、その現代的意味を問う。

H588. 5 「ほっかいどう地酒ラベルグラフィティ」  
 能登 亨樹 著  
 幻の蔵元から現役16歳まで、ビンテージ、オールドラベルを中心とする約500枚の北海道の日本酒ラベルを掲載。レトロでアートなラベルで、道内酒造の軌跡を辿る。

## 「たるばとクラブ」

たるばとクラブは、おはなし会や工作、アニメの上映など、図書館に来るのがもっと楽しくなる時間です。

【日 時】 いずれも土曜日 午後2時～3時

①10月5日 ②10月19日  
 ③11月2日 ④11月16日

【場 所】 ①③図書館1階 児童室えほんコーナー  
 ②④図書館2階 視聴覚室

【対 象】 どなたでも

【申込み】 不要

【内 容】 ①③「たるBOOKのかみしばい」  
 「たるBOOK」の皆さんによる紙芝居と工作を行います。協力：たるBOOKの皆さん  
 ②「ちびっこ映画の会」  
 「ざんねんないきもの事典」の上映と関連図書の紹介など。  
 ④「秋のおはなし会」  
 秋をテーマにしたおはなし会と工作など。



## 「乳幼児向けおはなし会 たるびよタイム」

絵本の読み聞かせや手遊びなどのおはなし会です。

【日 時】 いずれも金曜日 午前11時～11時半

10月4日、11日、18日  
 11月1日、8日、15日、22日

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 乳幼児とその保護者 【申込み】 不要

## 「ぐうちよきばあのおはなし会」

「おたる子ども劇場ぐうちよきばあ」の皆さんによる絵本の読み聞かせや紙芝居などの楽しいおはなし会です。

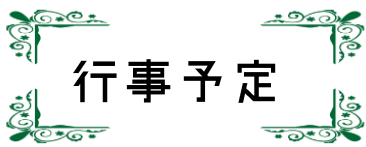
【日 時】 10月9日(水) 午後3時半～4時

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要



H723. 1 「日高の風」 滝本 幸夫 著  
 孤高の山岳画家・坂本直行は、どのようにして生まれたのか。原野を開墾し、風雪に耐え、周囲の理解を得られずとも、常に絵と共にあった彼の生涯を、遺された資料と様々な取材から綴る。



行事予定

10月

11月

催し

おたる図書館シネマ座 (映画鑑賞)

「北斗星・トワイライトエクスプレス 旅路の記憶」

10月6日(日) 午後1時半～午後3時  
図書館2階 視聴覚室

2015年春、昭和から平成の移り変わりに誕生した2つの豪華寝台特急がほぼ同時に定期運用を終えた。「北斗星」「トワイライトエクスプレス」の登場当時からの歴史を振り返り、その活躍ぶりを紹介する。

ミュージックプロムナード (音楽鑑賞)

【日 時】11月24日(日) 午後1時半～2時半

【内 容】「アンティーク・オルゴールの調べ」

【対 象】どなたでも

【場 所】図書館2階 視聴覚室



「秋の火災予防運動」(資料展示)

「守りたい 未来があるから 火の用心」

【日 時】10月15日(火)～10月31日(木)

【内 容】一人一人が火災予防の意識を一層高められるよう関係図書展示・貸出し

【場 所】図書館1階 カウンター前



えがしらみちこ絵本パネル展

「いまのきもちはどんないろ？」

【日 時】10月26日(土)～11月28日(木)

【内 容】絵本パネル(複製)、関連資料を展示するほか、「いまのきもちはどんないろ？」参加型コーナーを設置

【場 所】図書館1階 児童室・エントランス

移動図書館バスのお知らせ



令和6年10月から令和7年3月までの下半期ダイヤを決定しました。詳しくは、図書館またはホームページをご覧ください。



この一行に 逢いにきた

2024・第78回 読書週間  
10/27～11/9



「小樽図書館YA司書講座」

【日 時】10月12日(土) 午後2時～3時

【内 容】「ブックカバーを作ろう！」

文庫本サイズの布のブックカバーを、両面テープを使って、縫わずに作ります。

【対 象】中学生・高校生(またはその年代の方)

【場 所】図書館2階 視聴覚室

【定 員】15名(先着)

【申込み】10月1日(火)から図書館へ

【参加料】無料



おたる BookArtWeek2024

『韓国語、中国語、ロシア語の絵本展』

【日 時】10月13日(日)～10月26日(土)

【内 容】北海道立図書館から借り受けた韓国語、中国語、ロシア語の絵本を展示

【場 所】図書館2階 ギャラリー



秋の読書週間行事「大人のおはなし会」

【日 時】10月30日(水) 午前10時半～正午

【内 容】札幌おはなしの会の皆さんの語りによる大人が楽しむおはなし会です。

【対 象】小学5年生以上(申込み不要)

【場 所】図書館1階 閲覧室

「人形劇の会」

【日 時】11月3日(祝・日) 午後2時～3時

【内

延期

人形劇

【対

【場 所】図書館2階 視聴覚室